

U.S. Indicators

米国 景気の堅調さを示す水準に再上昇(17年10月 PMI : 速報値)

: 2017年10月25日 (水)

～雇用の増加を示唆～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

10月のPMIは製造業、サービス業ともに前月から上昇し比較的高い水準を維持

17年10月の米国総合購買担当者指数 (PMI) の速報値は、55.7と前月比0.9%ポイント上昇した。製造業が54.5と前月比1.4%ポイント上昇したうえ (生産指数が54.5と前月比2.1%ポイント上昇)、サービス業が55.9と前月比0.6%ポイント上昇した。製造業とサービス業がともに上昇する形で、経済活動が活発化したことを示している。

製造業では、入荷遅延、在庫が低下したものの、生産、新規受注、雇用が前月から上昇した。寄与度では、入荷遅延が前月比▲0.30%ポイント、在庫が前月比▲0.06%ポイントの押し下げ寄与となった一方、生産が前月比+0.42%ポイント、新規受注が前月比+0.34%ポイント、雇用が前月比+0.12%ポイントとなった。また、輸出受注は、10月の日本製造業PMIが52.5 (9月52.9)、ユーロ圏製造業PMIが55.9 (9月56.7)と比較的高い水準を維持するなかで、前月から改善した。一方、サービス業では、新規受注、雇用が前月から低下したが、活動指数が上昇した。また、将来の活動指数が高い水準を保っており、楽観的な見方が維持されている。

雇用動向を示す雇用指数は、10月に製造業が上昇し、非製造業はほぼ変わらずとなり、全体で上昇、雇用の増加ペース加速を示唆している。

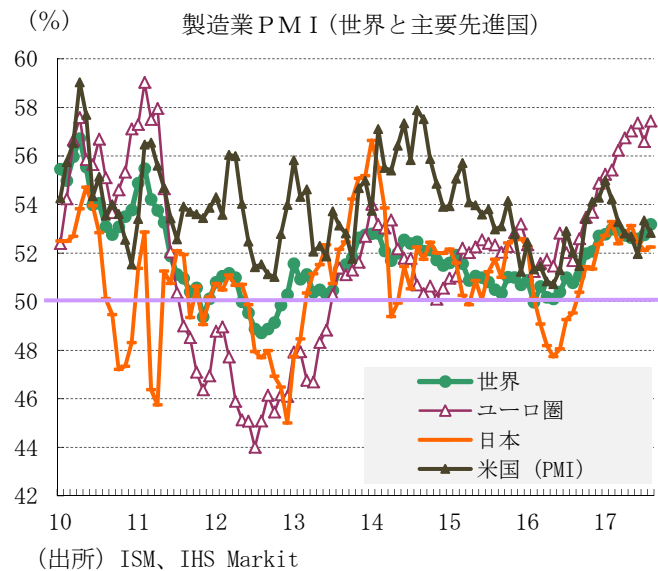
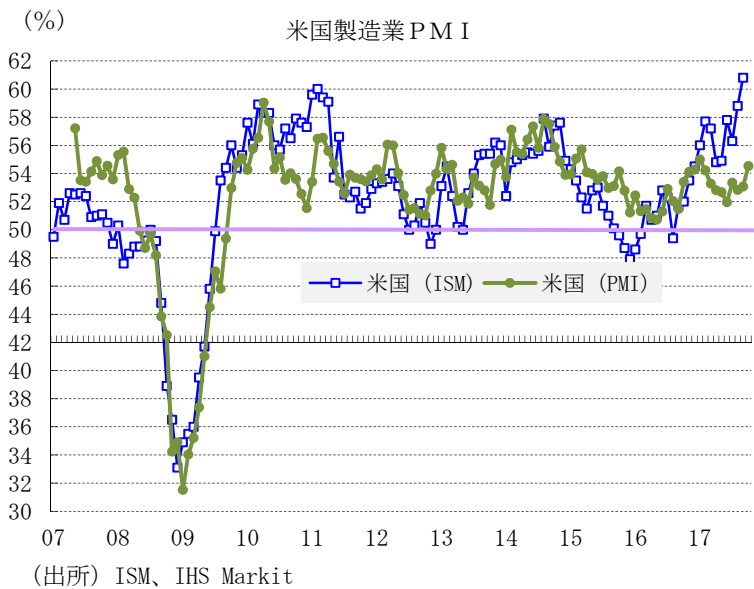
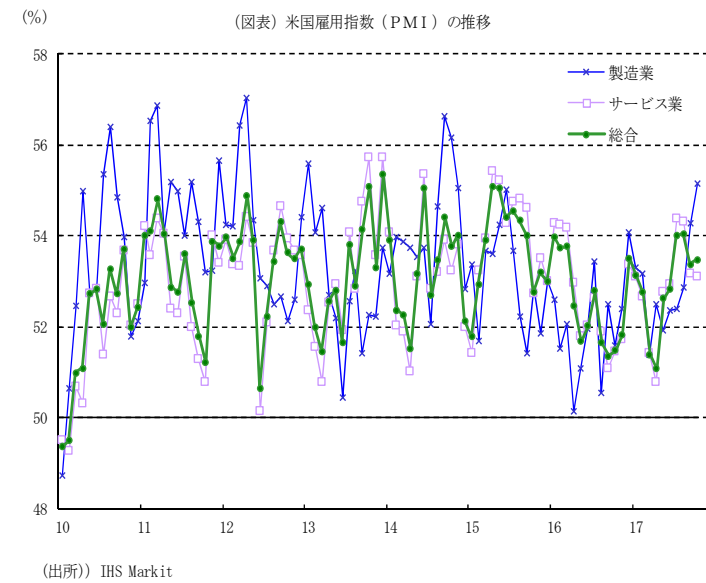
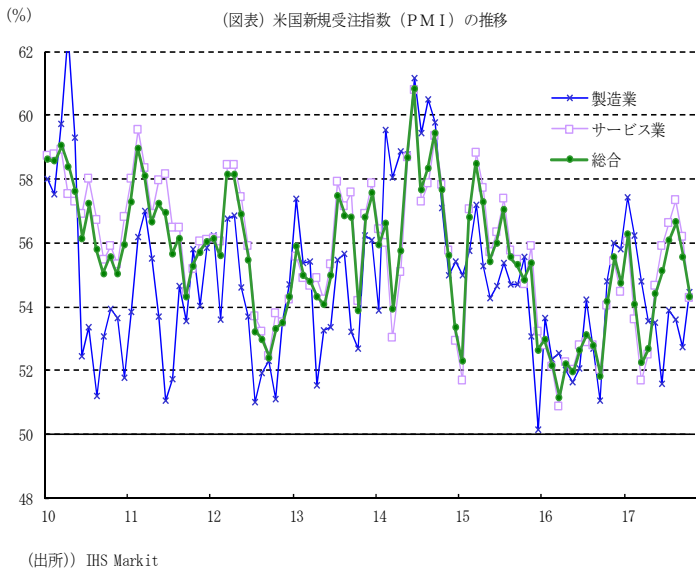
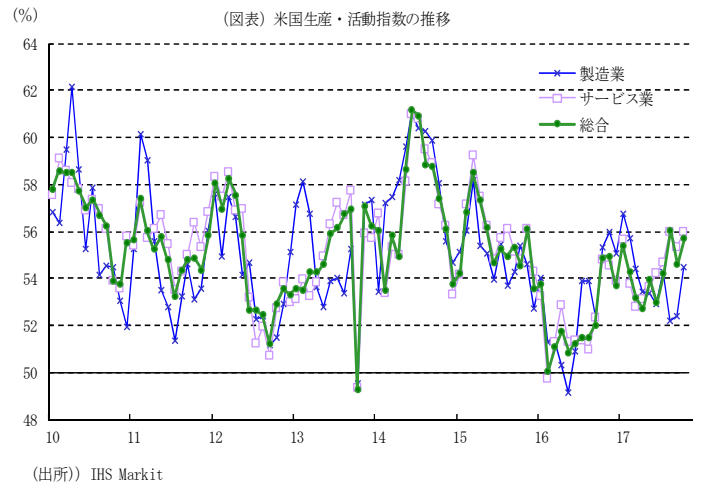
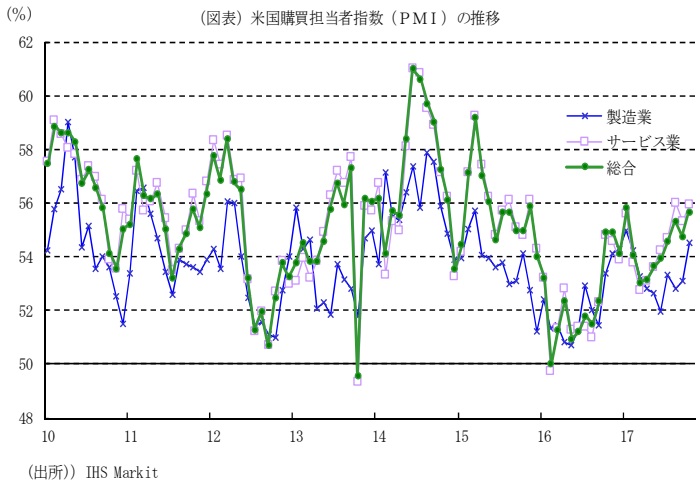
インフレ面では、投入コストが前月から低下した。ただし、製造業では金属価格等の上昇圧力が強いままであることが示された。一方、サービス業では、概ね緩やかなサービス価格の上昇を示す水準となった。

PMIは四半期でも改善傾向

四半期でみると、10月に55.7と、7-9月期平均の54.9 (4-6月期の54.6) からさらに上昇し高い水準となっており、10-12月期の米国景気が堅調さを維持していることを示している。

今後もドル高や中国経済の減速による需要の伸びを抑制する要因が残存するも、雇用・所得の増加や資産価格の上昇等による個人消費の拡大や、企業業績の改善などに伴う設備投資の増加を背景に、米景気の堅調さが持続するとみられ、PMIは当面高い水準に上昇すると予想される。

なお、10月のISM製造業景気指数は61.0と9月の60.8から小幅上昇し高い水準を維持すると見込まれる。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。